

SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信/海外/株式

交付運用報告書

第19期(決算日:2016年12月5日)

作成対象期間(2016年6月7日~2016年12月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2016年12月5日に第19期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第19期末(2016年12月5日)

基準価額	8,336円
純資産総額	8,608百万円
第19期	
騰落率	5.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の 9:00~17:00

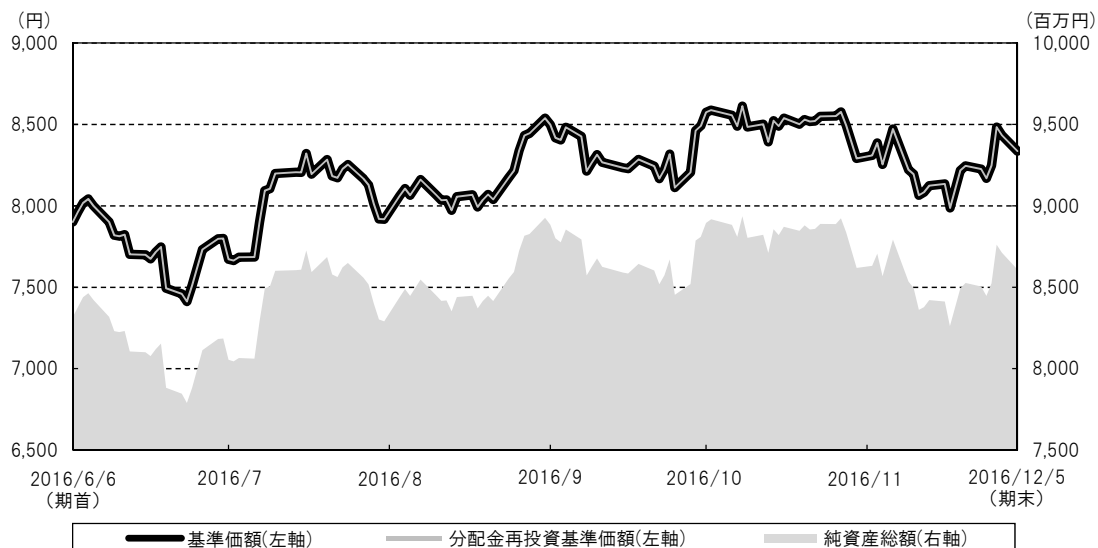
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2016年6月7日～2016年12月5日)



期 首： 7,901 円
 期 末： 8,336 円 (既払分配金(税込み):0 円)
 騰 落 率： 5.5 % (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2016年6月6日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、ベトナム株式市場の上昇に加えて、通貨インドルピーや通貨ベトナムドンに対して円安になったことなどを受け、上昇しました。期初は、英国の欧州連合(EU)離脱決定を受けて世界的に株式市場が急落し、外国為替市場ではリスク回避の円買いが進行したことにより、2016年6月28日に当期の最安値である7,412円を付けました。しかし、7月以降は、投資家のリスク回避姿勢の後退や原油相場の反発、アジア域内の株式市場への堅調な資本流入に下支えされ、インド市場やベトナム市場は概ね堅調に推移しました。10月上旬のインド準備銀行による追加利下げを受けてインド市場は上昇し、10月13日に当期の最高値である8,612円を付けました。その後は米大統領選で勝利したトランプ氏の政策への警戒感から、新興国市場が軟調推移となった一方、外国為替市場ではドル高・円安が進んだことから、インドルピーやベトナムドンは対円では上昇基調で推移しました。当期末の基準価額は8,336円となり、期を通じて+5.5%の上昇となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2016年6月7日～2016年12月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	88 (54) (31) (4)	1.077 (0.657) (0.377) (0.043)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.041 (0.041)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.035 (0.035)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	26 (6) (1) (19)	0.315 (0.070) (0.013) (0.233)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	120	1.468	
期中の平均基準価額は8,187円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

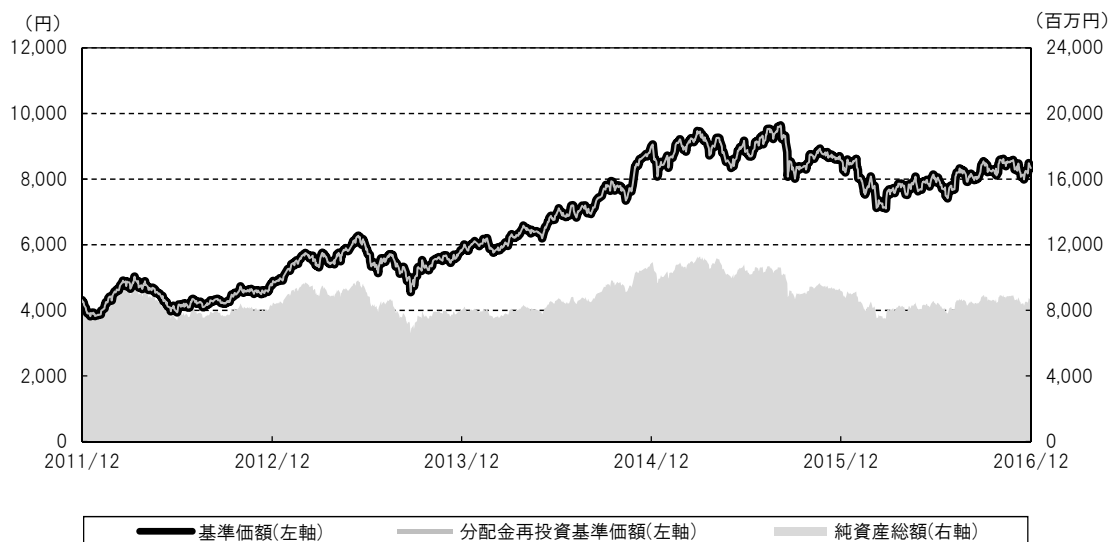
(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年12月5日～2016年12月5日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2011年12月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年12月5日 決算日	2012年12月4日 決算日	2013年12月4日 決算日	2014年12月4日 決算日	2015年12月4日 決算日	2016年12月5日 決算日
基準価額 (円)	4,308	4,758	5,823	8,929	8,584	8,336
期間分配金合計(税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	△ 31.0	10.4	22.4	53.3	△ 3.9	△ 2.9
SENSEX 指数騰落率 (%)	△ 30.1	11.6	18.8	60.2	△ 13.7	△ 8.0
VN 指数騰落率 (%)	△ 28.9	4.1	69.5	28.4	△ 1.9	5.3
純資産総額 (百万円)	8,478	8,257	8,005	10,817	9,203	8,608

(注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドでは SENSEX 指数[※]、ベトナムでは VN 指数[※]を記載しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

※各指数は円建て

●代表的な指数に関して

- ・SENSEX 指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する 30 銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。
- ・VN 指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

投資環境

(2016年6月7日～2016年12月5日)

○インド株式市場

(6 月)

・英国のEU離脱決定を受けて下旬に急落したものの、月末にかけて反発しました。月を通じてみればボックス圏での推移となり、前月末比では小幅に上昇しました。

(7 月)

・リスク回避の後退による欧米市場の上昇を受けてインド市場も堅調推移となりました。

(8 月)

・アジア株式市場や新興国株式市場への堅調な資本流入により、前月末比では上昇して取引を終えました。

(9 月)

・米連邦公開市場委員会(FOMC)を控えて投資家の様子見姿勢が続いたことから、ボックス圏で推移しましたが、月末にかけては利益確定売りが優勢となり、反落しました。

(10 月)

・月初はインド準備銀行による利下げを好感して買いが先行したものの、その後は利益確定売りにより反落し、月末にかけて一進一退で推移し、前月末比ではほぼ横ばいとなりました。

(11 月)

・インド政府が決定した高額紙幣廃止に伴う影響が懸念され、月を通じて下落基調となりました。

○ベトナム株式市場

(6 月)

・英国のEU離脱決定を受けて下旬に急落したものの、月末にかけて持ち直し、前月末比では上昇して取引を終えました。

(7 月)

・米利上げ観測の後退や欧米市場の上昇を背景に、上昇基調となりました。

(8 月)

・原油相場の反発に加えて、アジア株式市場や新興国株式市場への堅調な資本流入により、中旬以降は堅調に推移しました。

(9 月)

・米国の利上げ見送りや原油相場の上昇を好感した海外機関投資家からの資本流入により、下旬以降は上昇基調となりました。

(10 月)

・原油相場の一段高を受けて上昇したものの、米大統領選を控えて様子見姿勢が強まり、月末にかけて軟調推移となりました。

(11 月)

・米大統領選に勝利したトランプ氏の政策が新興国市場への警戒感を強める格好となり、前月末比で下落して取引を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年6月7日～2016年12月5日)

＜当ファンド＞

「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」といった各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

＜ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

運用の再委託先である LGM・インベストメンツ・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、90%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 95.6%となっております。

＜ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

運用の再委託先である SBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 98.5%となっております。

＜SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

インドの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、99%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 99.7%となっております。

＜SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性および流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式等の組入比率に関しては、85%以上の組入比率を維持しました。期末の株式等の組入比率は 96.9%となっております。

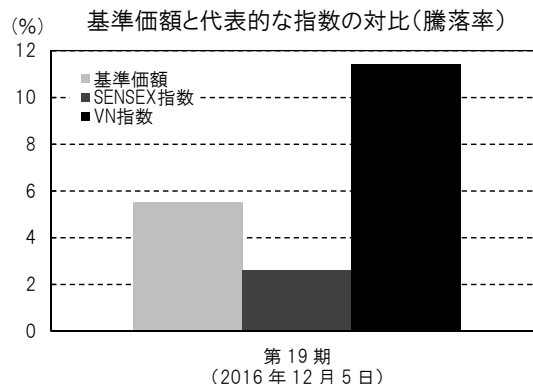
当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年6月7日～2016年12月5日)

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用していません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドでは SENSEX 指数[※]、ベトナムでは VN 指数[※]を記載しております。

※各指数は円建て



分配金

(2016年6月7日～2016年12月5日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期	
	2016年6月7日～ 2016年12月5日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	
	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	488	

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」の各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいります。

<ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドは以下のようにコメントしています。

世界第7位の経済規模を持つインドは、「真の」新興国市場です。1人当たりGDPは2,000ドルを下回っているものの、経済の急成長は続いています。健全な民主主義や効果的な政策決定に加えて、好ましい人口動態やマクロ経済の改善は、インド経済や株式市場の見通しを長期的に下支えています。我々は、引き続きインドには長期的な投資機会があり、質の高いインド企業は魅力的な投資先と考えています。また、政府による高額紙幣廃止策は長期的にインドに恩恵をもたらすと考えています。

我々の短期的な投資戦略は、インドの長期的な成長見通しを捉えるものになっています。引き続きボトムアップ・アプローチにより質の高いインド企業への長期投資に注力する方針です。我々は、投資先企業の質を重視する投資哲学やボトムアップ・アプローチを採用し、国内重視のインド企業を選好していることから、生活必需品、一般消費財関連、金融の組入比率を高め、エネルギー、公益事業、ソフトウェア・サービス、電気通信サービスの組入比率を低下させています。

<ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは以下のようにコメントしています。

インドのマクロ経済のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は、構造改革の継続、外貨準備高の増加、財政赤字や経常赤字の抑制、インフレのコントロールに伴い、引き続き比較的堅調です。民間消費は高額紙幣廃止前から改善の兆しをみせています。今年は雨期の降水量が平年並みと良好だったことに加えて、政府支出や公務員の賃上げも、高額紙幣廃止の悪影響を和らげるでしょう。政府が企業寄りの改革の実行に重点的に取り組んでいることを考慮すると、投資家は他の新興国市場よりもインド市場を選好する可能性が高いと我々は考えています。

当ファンドは、資本財、素材の組入比率が高く、ヘルスケア、ソフトウェア・サービス、エネルギー、生活必需品の組入比率が低くなっています。今後3-6カ月間並びに今後1年間のインド株式市場の見通しに関して、我々は前向きな見方をしています。

<SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

インド政府が発表した高額紙幣廃止は、短期的には企業収益にある程度の影響を及ぼすとみられています。とは言え、構造改革をもたらすインド経済への長期的な利益を念頭に置きながら、政府が直近2年間に様々な政策措置を講じてきたことは留意すべき重要な点です。長期的には、物品・サービス税(GST)の導入や今回の高額紙幣廃止による不正防止効果は、インド経済の構造的な成長にとって非常に好ましいと考えています。インド株式市場は、米国の政策動向など様々な海外要因の影響を受けつつも、外国人投資家によるインド株の買い越し基調が継続していることから、中長期的には緩やかに上昇していく展開が想定されます。

以上の見通しにより、インド株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、ポートフォリオの 75～80%の比率を目標として運用する方針です。

<SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

ベトナム株式市場は、中国の景気減速、米国トランプ新大統領の政策の舵取りが主なリスク要因です。自由貿易の停滞に繋がる保護主義的な政策を掲げていること、また、一連の政策による中南米市場の動揺が他の新興国へ連鎖することなどが懸念されます。一方、財政拡大、減税による景気浮揚への期待もあり、しばらくは米国の動向を注意深く見守る必要があります。ベトナム固有の要因では、外国人投資枠の撤廃への投資家の期待が高いこと、新興国の中でも相対的に高い経済成長率が株価のサポート要因です。

以上の見通しにより、ベトナム株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、ポートフォリオの 20%前後の比率を維持して運用する方針です。

※上記見通しと運用方針のうち、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」および「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」については、それぞれ運用の再委託会社である LGM・インベストメンツ・リミテッド、SBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドからのコメントを SBI アセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

お知らせ

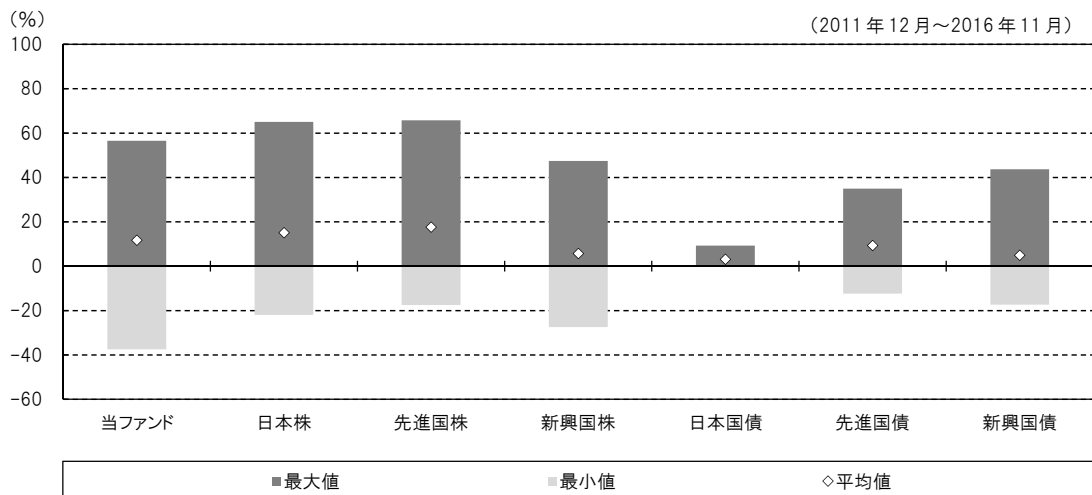
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(クローズド期間はありません)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	ロイド・ジョージ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・ マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.5	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△37.5	△22.0	△17.5	△27.4	0.5	△12.3	△17.4
平均値	11.7	15.1	17.7	5.7	3.1	9.3	5.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2011年12月から2016年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI(コクサイ)・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年12月5日現在)

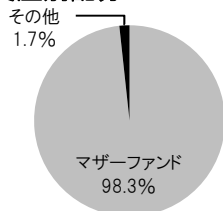
○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
	%
ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド	35.7
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	37.1
SBIAM インド株・マザーファンド	5.2
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	20.3
組入銘柄数	4銘柄

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

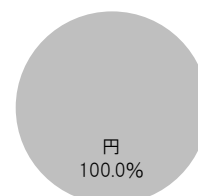
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第19期末
	2016年12月5日
純資産総額	8,608,981,871 円
受益権総口数	10,327,851,449 口
1万口当たり基準価額	8,336 円

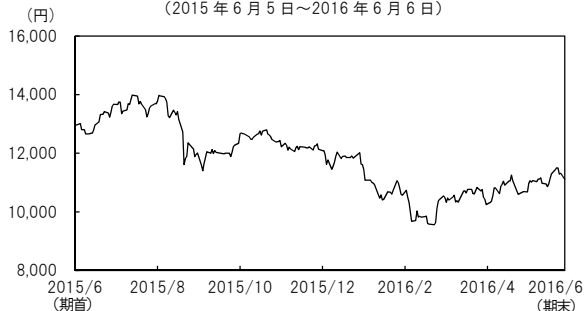
(注) 期中における追加設定元本額は445,847,865円、同解約元本額は644,779,832円です。

組入上位ファンドの概要

ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	6 (6)	0.050 (0.050)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.059 (0.059)
(c) その他費用 (保管費用)	17 (17)	0.142 (0.142)
合計	30	0.251

期中の平均基準価額は、11,755円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年6月6日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	6.4%
イエス銀行	銀行	インドルピー	インド	5.9%
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	5.4%
HDFC	銀行	インドルピー	インド	4.7%
マヒンドラ・マヒンドラ・ファイナンシャル・サービス	各種金融	インドルピー	インド	4.7%
ピディライト・インダストリーズ	素材	インドルピー	インド	4.5%
エマミ	家庭用品・パーソナル用品	インドルピー	インド	4.0%
シュリラム・シティ・ユニオン・ファイナンス	各種金融	インドルピー	インド	3.9%
インド・コンテナ	運輸	インドルピー	インド	3.9%
コタック・マヒンドラ銀行	各種金融	インドルピー	インド	3.5%
組入銘柄数	33 銘柄			

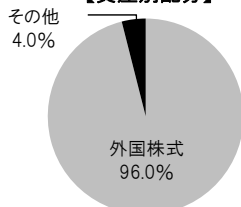
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC 銀行は HDFC のグループ企業です。

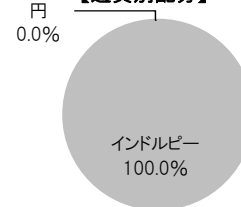
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 6 月 6 日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	21 (21)	0.163 (0.163)
(b) 有価証券取引税 (株式)	17 (17)	0.134 (0.134)
(c) その他費用 (保管費用)	70 (27)	0.546 (0.214)
(その他)	(42)	(0.332)
合計	108	0.843

期中の平均基準価額は、12,733円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年6月6日現在)

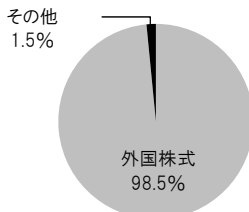
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	9.6
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	6.2
HDFC	銀行	インドルピー	インド	4.4
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	4.2
マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	3.7
サン・ファーマシューティカル	医薬品他	インドルピー	インド	3.2
ヒーロー・ホンダ	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	2.7
インドステイト銀行	銀行	インドルピー	インド	2.4
アショク・レイランド	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	2.3
ジー・エンターテインメント・エンタープライゼス	メディア	インドルピー	インド	2.3
組入銘柄数	55 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

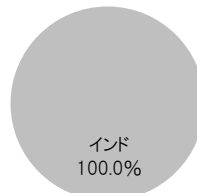
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

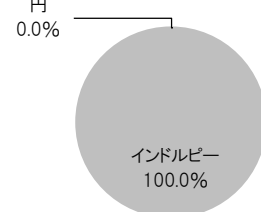
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 6 月 6 日現在のものです。

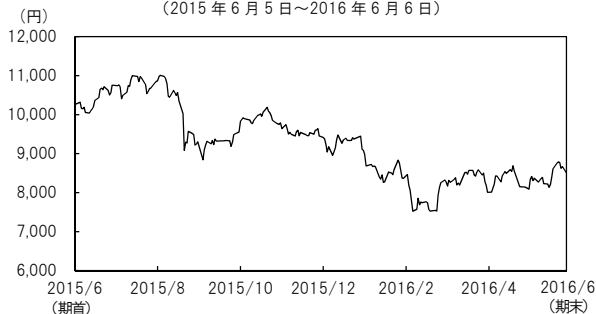
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	10 (10)	0.112 (0.112)
(b) 有価証券取引税 (株式)	7 (7)	0.072 (0.072)
(c) その他費用 (保管費用)	42 (42)	0.456 (0.456)
合計	59	0.640

期中の平均基準価額は、9,228円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2016年6月6日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	10.4%
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	9.3%
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	8.2%
HDFC	銀行	インドルピー	インド	8.0%
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	6.4%
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	5.8%
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	5.6%
ラーセン&トウプロ	資本財	インドルピー	インド	4.9%
アクシス銀行	銀行	インドルピー	インド	3.8%
タタ・モーターズ	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	3.6%
組入銘柄数	30銘柄			

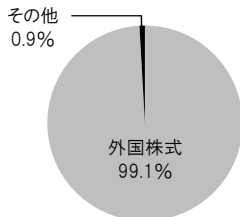
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

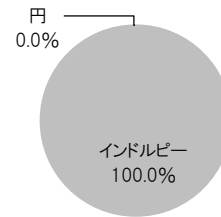
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2016年6月6日現在のものです。

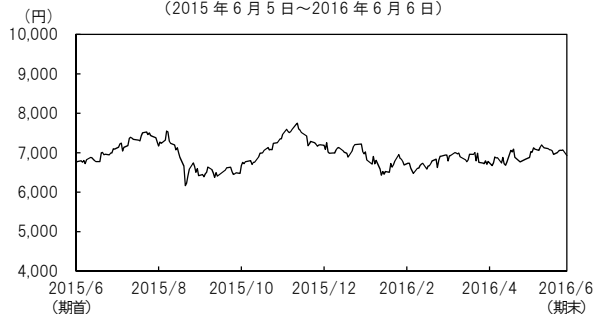
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM ベトナム株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万円当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	25 (25)	0.359 (0.359)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.005 (0.005)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	9 (9)	0.134 (0.134)
合 計	34	0.498

期中の平均基準価額は、6,986円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年6月6日現在)

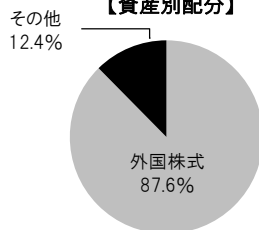
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	33.2%
ピンググループ	不動産	ベトナムドン	ベトナム	10.5%
マサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	6.7%
ベトコムバンク	銀行	ベトナムドン	ベトナム	6.3%
ベトインバンク	銀行	ベトナムドン	ベトナム	4.9%
FPT	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	ベトナムドン	ベトナム	3.9%
ベトロベトナムガス	公益事業	ベトナムドン	ベトナム	3.4%
ベトロベトナム・ドリリング	エネルギー	ベトナムドン	ベトナム	2.3%
キンドー食品	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	2.2%
ハウザン製薬	医薬品他	ベトナムドン	ベトナム	2.1%
組入銘柄数	18 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

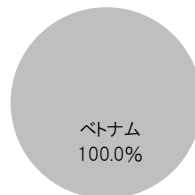
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

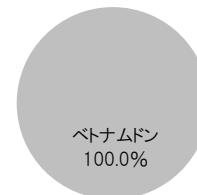
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 6 月 6 日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。